

採卵鶏における快適性に配慮した飼養方式の生産性評価(R2~4)

畜産酪農技術センター

背景

○採卵鶏の飼養方式

| ケージ | 平飼い | エンリッチドケージ |
|--|---|---|
|  |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> ・衛生的 ・生産効率高い ・行動は制限 <p><企業経営型></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行動は自由 ・鶏・卵等の衛生管理が難しい <p><個人経営型></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・行動の制限を改善するケージ ・巣箱、止まり木、砂場、爪とぎを設置 <p><新しい飼育方式></p> |

○アニマルウェルフェア(AW)

海外

- ・OIE (国際獣疫事務局)が、AWの国際的なガイドラインを策定。採卵鶏は2020年にも策定。
- ・AWに配慮し、ケージから平飼いの卵の取り扱いに変更する企業の動きも。

日本

- ・AWは「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と定義、適正な飼養管理を推進
- ・OIEに対し「エンリッチドケージ」での採卵鶏の飼育を提案

研究内容

(1) 養鶏農家における実態調査(R2)

県内の養鶏農家等を対象に、AWに対する取組の意向等について、アンケート調査を実施する。

(2) 飼育方式の違いが採卵鶏の生産性に及ぼす影響(R2~4)

従来型ケージ、エンリッチドケージ、平飼いについて、長期飼養試験(~850日齢)を実施。生産性、鶏の健康、卵の衛生状態、保存性、骨強度、舎内の臭気等への影響や経済性を調査する。

期待される効果

様々な飼育方式での生産性等の特色が明らかとなる



世界的なAWを巡る動向へのスムーズな対応
特色に合わせ、快適性に配慮した飼養管理の改善



生産者・消費者のAWに対する理解促進
付加価値鶏卵としてブランド化による収益向上